

(14) もとよし福祉用具貸与事業所

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	4	14	18	12	19	11	10	15	67	85
5	人	4	15	19	13	16	13	9	15	66	85
6	人	4	14	18	13	13	14	10	12	62	80
7	人	5	15	20	13	10	13	11	13	60	80
8	人	5	16	21	14	9	10	11	18	62	83
9	人	6	17	23	13	9	10	14	12	58	81
10	人	7	18	25	13	9	10	13	12	57	82
11	人	7	19	26	13	11	10	15	11	60	86
12	人	7	18	25	12	13	10	17	11	63	88
1	人	4	16	20	14	13	9	17	10	63	83
2	人	5	15	20	11	13	11	14	10	59	79
3	人	3	16	19	11	12	12	17	10	62	81
計	人	61	193	254	152	147	133	158	149	739	993
前年度	人	58	137	195	155	168	133	124	155	735	930

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
7月25日	介護保険集団指導【福祉用具貸与・販売】	気仙沼保健福祉事務所
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市
1月13日	パラマウントケアサービス商品説明会	社協本吉支所
1月23日	ニチイケアネット商品説明会	社協本吉支所
3月12日	平成30年度難病患者支援者研修会	気仙沼保健福祉事務所
	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】福祉用具に関する相談に懇切丁寧な対応を心掛けるとともに、社協のサービス事業所として福祉用具に関する相談だけでなく利用者の生活全般を支援できるよう、日常的な業務の機会を通して職員の意識高揚を図ってきました。また、介護保険以外の独自ベッド貸出の期間見直しや台数確保により軽度者の段階からの関わりを持つことができました。さらには、福祉用具毎に安価な仲卸業者から借入する等コスト削減にも取り組みました。

（平成30年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比） 75.2% 前年度79.2%）

【課題】昨年度対比では利用者数は若干増加傾向にありますが、要支援の割合が高く、顧客単価が低いことから、大幅な収入増には至っていません。今年度から、市内全域に事業展開を拡げ、周知を行ってきましたが、新たな利用に繋がらず、新規利用者確保が課題です。

【今後の取組】社協職員として利用者の生活全般を支援していけるよう質の向上を継続的に行うとともに、利用者確保に向けた事業周知等を徹底していくことや福祉用具の取り扱い品目の増加等に取り組み、本吉地域以外からも新規利用に繋がるよう対応していきます。また、健全経営に向け、業務委託費等のコスト削減にも継続して取り組み、収支バランスの安定に努めます。

【決算】事業活動収入	10,893,325円	事業活動支出	12,832,224円
その他の活動収入	2,199,000円	その他の活動支出	166,344円
(運用基金事業からの繰入)		当期資金収支差額	93,757円

13. 気仙沼市老人福祉センターの管理事業

(1) 気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」

【概要】気仙沼市老人福祉センター条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクレーションのための便宜を総合的に供与できる体制の充実に努めました。

【事業実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
館内	開館日数	20	21	21	21	23	18	23	21	19	21	19	20	247	
	*集い・教室・講座	回数	28	27	31	28	26	28	29	28	29	27	29	28	338
		人数	848	732	863	708	574	716	773	760	695	637	722	705	8,733
	福寿荘行事	回数				1	1	2		2		2		8	
		人数				21	25	340		217		92		695	
	奉仕活動	回数												0	
		人数												0	
	施設実習・見学	回数							8	2					10
		人数							60	16					76
	その他	回数	9	11	6	8	6	8	6	7	7	7	7	6	88
		人数	171	195	122	142	126	152	115	116	114	117	107	77	1,554
	計	回数	37	38	37	37	33	38	43	39	36	34	38	34	444
		人数	1,019	927	985	871	725	1,208	948	1,109	809	754	921	782	11,058
館外	*移動福寿荘	回数												0	
		人数												0	
	市老連関係	回数	1	5	3	1	2	1	3	2	2	1	3		24
		人数	5	107	95	74	87	7	34	120	18	7	125		679
	関係団体	回数	2	5	3	3	2	1	1	2		2		1	22
		人数	19	50	34	56	19	10	55	12		124		10	389
	計	回数	3	10	6	4	4	2	4	4	2	3	3	1	46
		人数	24	157	129	130	106	17	89	132	18	131	125	10	1,068
合計	回数	40	48	43	41	37	40	47	43	38	37	41	35	490	
	人数	1,043	1,084	1,114	1,001	831	1,225	1,037	1,241	827	885	1,046	792	12,126	
生きがいデイサービス (※再掲)	回数	28	27	31	28	26	28	29	28	29	27	29	28	338	
	人数	848	732	863	708	574	716	773	760	695	637	722	705	8,733	

【成果】趣味の集い活動及び独自講座並びに介護予防事業を継続して開催し、生きがいのある学習活動を推進しました。また、各集いの利用者が心身ともに健康的な生活を継続していくことができるように市包括支援センター・市高齢介護課・市健康増進課等の専門機関・気仙沼支援・医療・福祉五団体の協力をいただき、介護予防に関する普及啓発講座を開催し、多くの参加を得て研修を受講したことで知識を得、日常に活かされました。なお、安全性に配慮し、2階の茶室水回りの床を改修しました。貸館利用者に対しては、情報提供や活動資機材の活用ができるように配慮する等幅広い対応を行い、多くの参加利用がありました。

【課題】施設の老朽化対応が必要です。また、福寿荘独自講座開催に当たり、多様化するニーズに応えられるよう活動や支援の在り方について工夫を図るとともに、高齢者が安心して利用できるよう、必要な研修の受講等職員の資質向上が必要です。

【今後の取組】介護予防事業及び福寿荘独自講座の内容を充実させ、若年高齢者の利用促進の増加に努めるとともに、施設の環境整備等に迅速に対応し、来訪者にとって居心地の良い環境づくりに努めます。また、今後も関係機関の協力をいただき、介護予防に関する啓発講座の内容を充実させ継続的に実施します。なお、集い関係者とも連携を密にし、施設の効用を最大限に発揮して、さらなるサービス提供に努めます。

【決算】事業活動収入 25,693,350円
その他の収入 13,438,648円

事業活動支出 35,364,812円
その他の活動支出 0円
当期資金収支差額 3,767,186円

14. 市受託事業

(1) 気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業

【概要】 応急仮設住宅入居者等に対する総合相談の実施や訪問・交流活動等により、孤立化・ひきこもり等を防止し、安心した生活が送れるよう支援しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	前年度	備 考
出張サポート	仮設住宅集会場等	5 カ所	2	他の仮設住宅集会場等での相談会の開催
	公民館等（借用）	4 カ所	12	仮設住宅集会場等以外での相談会の開催
	相談者数	384 人	288	出張サポート時の相談者数
交流支援事業	交流イベント（他団体共催含む）	100 回/カ所	112	お茶会・イベント等
	参加者数（延べ）	1,610 人	1,258	交流会への参加者人数
連携調整事業		48 回	97	地区別ミーティングやNPO/NGO連絡会等
仮設訪問	住宅団地数（延べ）	513 カ所	438	訪問した仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	1,878 件	965	訪問した住宅団地内の戸数
	（内不在、延べ）	1,521 件	346	訪問したが不在（状況確認）
公営住宅訪問	住宅団地数（延べ）	15 カ所	30	訪問した公営住宅団地数
	戸数（延べ）	17 件	78	訪問した公営住宅団地内の戸数
	（内不在、延べ）	2 件	30	訪問したが不在（状況確認）
在宅（仮設以外）	戸数	23 件	25	みなし仮設等
	（内不在）	2 件	2	訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	25 件	57	住宅等の問題
	健康相談	376 件	519	身体的健康の問題
	精神的問題	1 件	3	PTSDなど精神的問題
	介護関係	1 件	4	介護保険等相談
	家庭関係	2 件	2	DVなど問題
	交通等	0 件	0	通院や買い物等の問題
	経済関係	0 件	2	経済的な問題
	交流	0 件	4	孤立や交流等の問題
	その他	221 件	132	上記以外の問題など
	合計	626 件	723	
研修会	内部研修	133 回	24	社協内部研修会実施
	外部研修	11 回	14	外部研修会への参加

【成果】 多くの仮設住宅が閉鎖となり、仮設住宅から災害公営住宅に移られた方や自立再建し移られた方がスムーズに地域に馴染めるように他機関と連携し支援を行い、仮設を離れても相談や話し合いの場等を持てるように、地域サロンを開催しました。また、定期的な個別訪問による安否確認の継続と仮設住宅集会所を開放しての仮設住宅入居者と地域住民との集いをボランティアセンターや他機関と連携して交流会が継続できるよう支援しました。

【課題】 仮設住宅での空室が目立ってきています。安否確認訪問を継続していますが、区画整理が進まず周りを取り残され焦りを感じる方や今後の住まいが決まっていない方がいます。継続した訪問による相談対応や精神的サポートが必要です。また、地域サロンを定期的に行っていますが、地域の方々の中で担い手になる方がいない状況です。今後は、地域の担い手づくりを行いながら活動を継続できるように支援していく必要があります。

【今後の取組】 仮設入居者は3月末現在で45世帯102名となり、今後も区画整理が進み、退去する方が増えると思われますが、未だに土地引き渡しが決まっていない方や再建するに当たり、様々な課題を抱えている方もいます。その方々の支えになれるように、各関係機関と連携しながら今後とも支援に努めます。

【決算】 事業活動収入 20,055,027円

事業活動支出 19,265,103円

その他の活動による支出 789,924円

当期資金収支差額 0円

(2) 気仙沼市「絆」再生事業

【概要】被災者と地域コミュニティとの繋がりを支援し、交流活動の実施や支援をするとともに、みなし仮設住宅、新たな住まいや地域等での孤立化の防止や見守り、関係機関への連絡、総合相談を実施しました。

【実績】

事業内容	区 分	件数等	備 考
交流事業	交流イベント(他団体共催含む)	95 回/ヶ所	お茶会・イベント等(仮設・地域)
訪問状況	戸数(延べ)	1,538 件	
継続訪問世帯数(見守り等)	仮設住宅	0 件	
	在宅・みなし等	253 件	
相談件数	住宅関係	2 件	住宅等の不具合等
	介護関係	2 件	介護に関する相談
	生活環境関係	4 件	
	交流・社会参加関係	44 件	交流希望・孤立の問題
	交通等関係	1 件	交通手段や時刻表
	精神的問題	1 件	心の問題
	隣人等関係	2 件	隣人トラブルなど
	健康面	2 件	体調面の心配
	物資関係	0 件	物資の問合せ
	軽微なお手伝い	1 件	相談員等スタッフが対応できる軽微な作業
	児童関係	0 件	児童サービスの問合せ
	障害関係	0 件	障害サービスの問合せ
	経済面	0 件	経済的な問題
	傾聴	1 件	不安や葛藤等の相談
	その他	8 件	上記以外の問題など
	合計	68 件	
連携事業	民協定例会出席	138 回	12地区ごと月1回
	地区別支援者ミーティングやNPO/NGO連絡会等	329 回	地区別支援者ミーティング 毎月開催 NPO/NGO連絡会等毎週開催
各団体との連携調整	仮設住宅自治会長	23 回	原則全仮設訪問時に情報交換
	地域の自治会長や各種地域団体	1,047 回	随時連携・交流事業(イベント)の共催など
	行政・サポセン・友愛・復興協会・復興㈱・NPO/NGO等と	随時	
研修会	内部研修	14 回	内部研修実施
	外部研修	18 回	外部研修会への参加

【成果】災害公営住宅や防災集団住宅団地で住民組織が結成されている住宅において、活動に参加し住民との交流を通して、必要に応じて専門機関団体等に繋ぎ支援を行いました。また、住民組織立ち上げに向けて取り組まれている公営住宅においては、関係機関・団体と情報共有を図り自治会設立に向けて交流会等を開催しました。自立再建された方の中には、ご近所同士の繋がりの希薄化により、地域に馴染むことに時間を要する方もいることから、行事等への声がけを通して住民や地域の状況を把握し、関係機関・団体等と連携を図りながら、孤立しない地域づくりへ向けて取り組みました。

【課題】みなし仮設住宅に住まわれてる方への訪問を行っていますが、長期に面会できない方の状況把握が難しい現状があります。また、自立再建し新転地に住まれた方と既存住民とのコミュニティづくりには時間を要することから、丁寧な関わりが必要です。嵩上げ工事終了に伴い元の土地に戻られた方々については、集会所等が未だ未整備地区もあり、交流する場所の確保も課題のひとつです。

【今後の取組】生活支援体制整備事業と連動した各種の研修会に参加する職員及び専門職や支援者だけではなく、地域のキーパーソンやボランティア団体等と研修を通して、地域の課題を把握する一方で、地域には多くの住民同士の支え合い活動があることも認識できました。今後も、その地域力が継続し、充実するよう支援しながら、個別支援と地域支援が連動した支え合いのコミュニティづくりに取ります。

【決算】事業活動収入	72,787,203円	事業活動支出	70,100,391円
その他の活動収入	0円	その他の活動支出	2,686,812円
		当期資金収支差額	0円

(3) 気仙沼西地区高齢者相談室運営事業

【概要】気仙沼西地区の災害公営住宅や防災集団移転の整備に対応し、高齢者等の生活再建や地域社会への復帰、自立生活を支援するため、仮設住宅を含めて巡回訪問し、安否確認や見守り・声掛け・総合相談等を実施しました。

【実績】

事業内容等	区 分	件数等	備 考
災害公営住宅 巡回訪問	住宅数（延べ）	4	カ所 訪問した災害公営住宅団地数
	戸数（延べ）	2,195	件 訪問した戸数
	（内不在、延べ）	712	件 訪問したが不在（状況確認）
防災集団移転先 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	2	カ所 訪問した防災集団移転先数
	戸数（延べ）	117	件 訪問した戸数
	（内不在、延べ）	34	件 訪問したが不在（状況確認）
応急仮設住宅 巡回訪問	住宅団地数（延べ）	2	カ所 訪問した応急仮設住宅団地数
	戸数（延べ）	34	件 訪問した戸数
	（内不在、延べ）	12	件 訪問したが不在（状況確認）
相談件数	住宅関係	74	件 住宅等の問題
	健康相談	38	件 身体的健康の問題
	精神的問題	2	件 PTSDなど精神的問題
	介護関係	4	件 介護保険等相談
	家族関係	0	件 DVなど問題
	交通等	16	件 通院や買い物等の問題
	経済関係	12	件 経済的な問題
	交流	48	件 孤立や交流等の問題
	傾聴	43	件
	その他	58	件 上記以外の問題など
	合計	295	件
お茶会等イベン ト活動	交流イベント（他団体共催含む）	124	3カ所
	参加者数（延べ）	1,874	人
地域支援活動	自治会等	6	回/1カ所
	参加者数（延べ）	778	人
広報公聴活動		1,456	部 高齢者相談室の活動、イベント等の周知
各種連絡調整会議	行政・サボセン・ボラセン・NPO/NGO等	56	回 行政・サボセン・ボラセン・NPO/NGO等との情報共有
職員研修状況	内部研修	1	回 社協内部研修会実施
	外部研修	7	回 外部研修会への参加

【成果】南郷住宅にある二つの高齢者交流サロンも円滑に運営され、清掃活動・植栽等、自治会の活動も着実に進められています。四反田住宅及び田中・九条北住宅は既存の自治会に属し、それぞれに交流会・お茶会・カラオケの会等も企画・運営されました。

交流会等の援助活動も適宜行い、見守り・声掛けを含む、訪問活動にも計画的に取り組むことができました。専門機関との連携や情報共有も適切に行えるようになり、入居者への援助活動の幅を広げることができました。

【課題】高齢化に伴い、体調を崩す入居者が増えています。会えない方や健康面で心配のある方等との関わり方については状況に合わせた検討が必要です。また、精神面で心配のある方が地域から孤立しないよう、今後も専門機関や民生委員等と連携しながら取り組みます。

【今後の取組】災害公営住宅からの退去、新たな入居に伴い、これまでと同様に専門機関や他の支援者と協力・連携し、入居及び自立再建された方の安心・安全な日常の確保に努めます。また、計画的な訪問と巡回、丁寧な相談業務の実施はもとより、隣近所が支え合う関係づくりを支援します。

【決算】事業活動収入 10,347,234円
その他の活動収入 0円

事業活動支出 10,347,194円
その他の活動支出 0円
当期資金収支差額 40円

【概要】鹿折地域及び唐桑地区の高齢者に関する介護や健康、認知症、高齢者虐待に関する相談に対し、訪問や面談、電話で対応し、必要な場合は関係機関と連携し解決に向けた支援を行いました。認知症総合支援事業の取り組みとして、認知症懇談会（認知症カフェ）を鹿折地区唐桑地区で開催し、普及啓発に努めました。

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防総合	契約のみ	その他
4	79	56	22	70	12	7	49	20	4	18	4	34
5	76	71	17	54	8	7	53	16	4	17	8	29
6	88	61	24	88	24	12	43	24	6	20	6	38
7	76	57	34	89	23	2	70	11	10	17	8	55
8	73	41	27	63	11	0	44	11	9	11	6	39
9	59	36	12	35	11	1	30	7	7	10	3	14
10	132	117	9	45	11	1	19	24	8	6	81	21
11	105	93	13	61	10	0	23	32	11	18	44	29
12	74	51	18	53	6	8	22	22	5	20	12	27
1	79	64	29	73	13	17	34	23	18	9	6	46
2	85	62	21	85	10	26	34	20	16	18	4	40
3	80	41	47	94	25	33	26	23	20	8	0	47
合計	1006	750	273	810	164	114	447	233	118	172	182	419
前年度	953	640	298	878	333	94	481	155	110	158	60	425

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
5月10日～6月11日	主任介護支援専門員更新研修	仙台市
5月～10月	健康長寿ガイドライン研修	気仙沼市役所
6月4日	気仙沼地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
6月9日	宮城県ケアマネジャー協会総会、記念講演	気仙沼市役所
7月20日	気仙沼市地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
7月24日～25日	気仙沼市権利擁護研修会	気仙沼市役所
8月17日	平成30年度認知症キャラバンメイト養成研修	仙台市
8月22日	認知症キャラバンメイトスキルアップ研修	気仙沼市役所
9月14日	平成30年度気仙沼市介護サービス事業者集団指導	気仙沼市役所
11月9日	気仙沼圏域認知症疾患医療連絡会	三峰病院
11月19日	気仙沼地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
12月22日～23日	認知症初期集中支援チーム員研修	東京都
1月22日	第9回気仙沼・南三陸成年後見サポート連絡協議会	気仙沼保健福祉事務所
3月12日	気仙沼圏域認知症疾患医療連絡会	三峰病院
3月20日	平成30年度地域包括支援センター運営協議会	気仙沼市役所
3月24日	地域包括ケア推進協議会総会	気仙沼市役所

(平成30年度 介護報酬目標達成度103% 前年度107%)

【今後の取組】平成31年度から気仙沼市では地域包括支援センターは、高齢者に限らない、福祉分野の総合的な一次相談窓口の機能を担う組織として位置づけられました。子育てや障害者についての相談・対応が求められます。関係機関との連携を強化し、地域包括ケアの基盤整備に努めます。

57

(5) 気仙沼市本吉地域包括支援センター

【概要】本吉地域の高齢者の実態把握に努め、保健・医療・福祉関係機関と連携し、車の運転が心配な方々の相談に関わりました。認知症家族懇談会、認知症カフェを開催し、認知症の理解、啓発に努めました。身寄りのない方の住居や金銭面の相談対応をしました。

【実績】

月	実数	対応方法			対応理由区分							
		訪問	面接	電話	認知	権利擁護	介護	生活	ケアマネ支援	予防支援	契約のみ	その他
4	71	42	37	85	49	1	51	20	16	20	5	28
5	75	44	25	91	44	5	20	25	18	16	9	23
6	83	66	32	73	50	1	41	18	9	19	4	29
7	83	63	38	106	24	33	41	25	5	22	4	53
8	82	59	44	95	29	18	57	22	11	23	5	33
9	71	42	37	77	11	33	50	16	7	17	3	19
10	86	61	32	67	9	17	49	3	7	22	5	38
11	97	73	39	77	18	18	35	23	9	26	29	31
12	117	82	34	60	18	9	30	11	13	26	39	30
1	82	35	50	72	9	7	42	17	12	25	16	29
2	96	70	28	97	10	8	65	19	17	20	33	23
3	79	41	30	79	13	3	49	13	10	12	17	33
合計	1022	678	426	979	284	153	530	212	134	248	169	369
前年度	946	708	283	1012	302	21	623	227	76	245	64	445

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
5月10日～6月11日 8日間	主任介護支援専門員更新研修	フォレスト仙台・県庁
6月4日	地域包括ケア推進協議会	気仙沼市役所
7月11日	ネットワーク推進員、事務局合同会議	やすらぎ
7月20日	介護保険運営委員会	気仙沼市役所
7月23日	権利擁護研修会	気仙沼市役所
9月21日～	警察署との情報交換会	気仙沼市役所
11月13日	介護予防のための地域ケア個別会議	仙台市TKPガーデンシティ
12月14日	本吉地域地域対応困難者事例検討会	保健福祉センターいこい
12月22日～23日	認知症初期集中支援チーム員研修会	バルサール汐留
平成31年1月22日	宮城県認知症地域推進員情報交換会	仙台市TKPガーデンシティ
1月22日	宮城県認知症初期集中支援チーム員情報交換会	仙台市TKPガーデンシティ
1月22日	気仙沼・南三陸成年後見サポート連絡会	気仙沼福祉事務所
2月22日	認知症ケア推進研修会	仙台市TKPガーデンシティ

【成果】認知症懇談会を開催し、認知症家族会の介護経験者の話に耳を傾け、参加者も参考にすることができました。今年度はじめて認知症カフェを開催し、ゆったりした中で家族が集うことができました。ケアマネジメント情報連絡会では、昨年度の療養者の防災対策研修会の振り返りを行い、さらに各事業所間での防災に対する意識強化が図られました。

【課題】認知症高齢者が増えており、地域や関係機関とのさらなる連携が必要であり、認知症の方を地域で見守る体制を強化していく必要があります。

【今後の取組】認知症になっても安心して地域で暮らせるよう、地域や関係機関と連携し、ケア会議等で情報共有を図ります。また、地域支援コーディネーターと連携し、地域の課題等に目を向けられるよう積極的に地域に出向いて活動します。これまでの事業を継続し、認知症の啓発活動に努めます。病院や薬局、店舗等に包括のチラシを置かせていただき、相談場所の周知や健康講話等の活動啓発にも力を入れていきます。

【決算】事業活動収入 28,138,368円

事業活動支出

26,563,496円

その他の活動支出

1,347,276円

当期資金収支差額

227,596円

(6) 津谷在宅介護支援センター

【概要】本吉地域（津谷、馬籠、大谷地域）の高齢者の総合相談窓口として、訪問等による相談や実態調査を実施し、生活課題の早期把握や早期支援に努めました。

【実績】

1 実態把握業務

区分別調査件数	実態把握件数		
	年度初回	2回目以降	合計
訪問	44	0	44
来所	0	0	
合計	17	0	44
前年度	88	1	89

2 活動実績内訳

訪問目的内訳		訪問		来所のみ	
		実数	延数	実数	延数
に包 よ 括 る の 訪 問 頼	在介実態把握	44	44	0	0
	在介経過観察・見守り	0	0	0	0
	サービス未利用者実態把握(要介護者)	0	0	0	0
	サービス未利用者実態把握(要支援者)	0	0	0	0
	二次予防事業実態把握	0	0	0	0
相 談 に よ る 訪 問	家族	0	0	0	0
	本人	0	0	0	0
	民生委員	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
合 計		44	44	0	0

支援内容内訳		訪問		来所のみ	
		実数	延数	実数	延数
介 護 保 険 適 用	介護保険認定申請支援	0	0	0	0
	居宅介護支援事業所紹介			0	0
	施設入所支援	0	0	0	0
	福祉用具購入	0	0	0	0
	住宅改修	0	0	0	0
地域包括支援センターへ				0	0
他制度利用支援		0	0	0	0
要経過観察		44	44	0	0
二次予防事業への参加意向の有無 訪問型		0	0	0	0
通所型		0	0	0	0
救急医療情報キット配付		0	0	0	0
合 計		44	44	0	0

【成果】実態把握や相談業務により高齢者の生活課題の早期把握とともに、必要な支援に向けた地域包括支援センターをはじめとする関係機関等との連携ができました。

【課題】従事職員が兼務であり、効果的な時間配分と配車計画が必要です。

【今後の取組】独居や高齢世帯、認知症の高齢者等地域との関わりをさらに強くしていく必要があることから、対象者本人にも地域との関わりを大切にすることを呼び掛け、民生委員等との連携を強化しながら取り組みます。

【決算】事業活動収入 388,155円 事業活動支出 388,155円
 当期資金収支差額 0円
 (家族介護者交流事業178,831円、家族介護教室事業20,124円を含む。)

事業名	内 容
生活支援型食事サービス	【概要】 虚弱な高齢者の単身世帯等を対象に、生活を支える「食」の確保を図りながら安否確認と自立支援を行うとともに、利用者とその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的として、毎週火・木・金曜日のうち週1～2回の利用ができるものとし、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員、ボランティア等の協力を得て実施しました。 【実績】 気仙沼地域 利用者：58人 配食数：2,480食 唐桑地域 " : 10人 " : 524食 本吉地域 " : 30人 " : 759食 利用者合計：98人 配食数合計：3,763食 【成果】 一人暮らしの利用者が多いため、民生委員児童委員やボランティア、配達職員の訪問を楽しみにしている方も多いようです。緊急対応をしたケースはありませんでした。 【課題】 高齢者向け弁当の配達を行う民間業者が増えていることから、事業について整理・検討する必要があります。 【今後の取組】 事業について内部で整理・検討し、市担当課と話し合いの場を設けます。 【決算】 3,555,934 円
生きがい活動支援通所事業 (元気老人デイサービス事業)	【概要】 おおむね65歳以上の高齢者を対象に、本吉保健福祉センター及び地域集会所等において、生きがい活動援助員による通所サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図りました。 【実績】 延利用回数 : 243回 延利用者数 : 3,288人 【成果】 新たに参加する少し若い世代の方々も増えたことで年齢層の幅が広がり、話題も多種多様になり、参加者同士が良い刺激になっています。より好奇心をもって新しいプログラムにも挑戦できています。 【課題】 参加者個々の状態に合わせて、無理なく楽しくできていることをこれからも継続できるように、必要に応じて実践活動等を組み合わせて支援していくことが必要です。 【今後の取組】 サービス提供終了後、職員間での振り返りを密に行い、利用者の心身状況に応じた転倒や誤嚥などのリスク管理も確認しながら、より楽しく充実した時間が過ごせるような支援に取り組みます。 【決算】 7,454,411 円
家族介護者交流事業 (本吉地域)	【概要】 高齢者を介護している家族に対して、日帰り温泉等で介護者相互の交流を通し、介護者を介護から一時的に開放することにより、参加者の心身のリフレッシュを図りました。 【実績】 7月6日（金）からくわ荘 参加者18人

	12月6日（木）いつくし園 参加者20人 【成果】介護者同士の交流により、「普段、旅行等に出掛けることがなく、毎回この交流が楽しみ」「毎回参加しているが、気分転換になっているので、今後も是非続けてほしい。」という意見があり、外出し、参加者同士が日頃の悩みを話すことにより、リフレッシュに繋げることができました。 【課題】行き先は、地元を選定しましたが、「近くても、なかなか行くことがないので良かった。」という意見がありました。事業参加するためにデイサービスやショートステイ等のサービス利用のスムーズな調整が必要となっています。 【今後の取組】事業周知はケアマネージャーによるところが大きいですが、その他の介護事業所や市広報等に計画的に掲載することで幅広い周知を進めます。今年度は、市広報での周知によるところが大きいことから、今後も一人でも多くの方に参加していただけるよう周知の充実を図っていきます。 【決算】178,831円
家族介護教室事業	【概要】高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を開催することにより要介護高齢者の状態の維持・改善を図るとともに、在宅生活の質の向上を図ります。 【実績】11月13日（火）「みんなに優しい介助方法」介護者・要介護者が負担が少ない介助方法について 参加者11人 2月27日（水）「心豊かに・自分らしく」介護家族がストレスを溜めずに心豊かに過ごせるように 参加者16人 【成果】1回目は、どちらかというと介護度の高い身体介護をしている方々を対象とした内容となり、参加者のうち介護度の高い方の割合は少なかったのですが「参考になった」という意見が聞かれました。2回目は、男性の参加が数人ありました。各回とも、参加者が、自由に発言できる雰囲気を実施することができました。 【課題】毎回、テーマや内容の選定が課題であり、事業所内でも現在抱えている問題がないかリサーチして企画を検討しています。参加者の声等から今後は、身体的負担より精神的負担の軽減ができる内容の検討も必要です。 【今後の取組】アンケートの内容から「認知症について学びたい」という意見もあり、次年度に向けて検討中です。また、介護者が参加しやすい日程と介護者の興味を持てる内容や介護者が抱えている問題等に焦点をあてて企画立案し、事業の充実を図ります。 【決算】20,124円

外出支援サービス事業	【概要】 リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と在宅福祉サービスを提供する場所及び医療機関等との間の移動を支援しました。 【実績】 延利用者数 31人（実利用者2人） 延利用回数 59回（自宅から目的地までの片道を1回でカウント） 【成果】 リフト付きの車両での送迎が必要な方の定期的な通院時の移動支援の一助を担うことができました。 【課題】 利用条件の制限により実利用者数は現状で2人となっており、減少傾向にあります。また、気仙沼市からの委託事業ですが、市内での介護タクシーが普及している状況であることから、事業のあり方について気仙沼市と協議する必要があります。 【今後の取組】 今後の事業運営について、委託者である気仙沼市と協議を継続することとしておりますが、その間は効果的な事業となるよう取り組みます。 【決算】 35,400 円
大谷学童保育事業	【概要】 日中、留守家庭等により保育が困難と認められる小学生を預かり、保育する目的で学童保育事業を実施しました。通年での土曜日開所及び長期休業並びに一時預かりも周知徹底され、様々な開所区分での保育運営を行いました。 【実績】 対象児童：留守家庭の小学1年生から6年生まで 登録児童数：26人 延開所日数：286日 通常利用延人数：5,415人 短期利用延人数：213人 【成果】 加配対象児童及び子ども達のおかれている状況が多様化してきている中での受け入れに当たり、児童及び各家庭の状況把握に努め、職員間での共通認識を図り、事故防止に努めました。小学校との連携も重要視し、話し合いや情報提供の機会を持ち、個々に寄り添える保育に努めました。リスク管理の徹底を図り、各職員が主となって動けるよう避難訓練を実施しました。また、多様な季節行事を取り入れ、地域住民との世代間交流事業を実施し、地域に開かれた学童保育となるよう取り組みました。職員の資質向上のため各研修会にも参加しました。 【課題】 加配対象児童及び個別に配慮が必要な児童の割合が増加しているなか、衝動性等の特徴が見られる児童が少なくないことから、個々の児童の把握とその対応については児童との信頼関係の構築が必要不可欠であります。安全管理を優先し児童の見守り強化に努めてきましたが、日々の生活や児童が落ち着かず、職員への暴言が多く聞かれるようになり、児童を支援指導していくことの難しさがありました。事業を行う上で必要かつ安定した職員配置と専門的研修が課題です。 【今後の取組】 個別の配慮が必要な児童の個性を踏まえた、より細やかな保育に努められるよう、職員間の共通認識を図り、保育の振り返りを

	しながらモチベーションを上げ、職員会議や申し送りの場で語り合える関係を築いていきます。各職員の業務従事機会を増やし、職員自ら児童と向き合い、意識の向上に努め、経験値を上げながら児童及び保護者との信頼関係を築いていけるよう業務に当たっていきます。学童保育ならではの異年齢児同士の関わりを大切に捉え、普段の活動はもとより季節ごとの各種行事や地域との様々な交流事業に取り組みます。来年度は、本会で行う学童保育事業として最終年度ということもあり、児童の情緒の安定に欠かせない保護者への学童保育に対する理解啓発に努め、主体的かつ積極的に行える体験活動を取り入れていきます。 【決算】 8,443,905 円
生活支援体制整備事業	【概要】 互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的とします。地区担当職員（地域支え合い推進員）を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。 【実績】 ・自治組織代表者会議に出席し事業説明 ・地区社協会長会議にて事業説明 ・地区住民懇談会等にて事業説明（6地区社協） ・第1層協議体（地域包括ケア推進協コミュニティ・生活支援専門部会）出席 ・地域支え合い推進員連絡会議（11回） ・地域支え合い協力員・地域支え合い推進員合同連絡会議開催（1回） ・社協だより、本吉支所だよりによる、地域活動「お宝」の発信 ・生活支援体制整備事業パネル展（於ワンテン情報プラザ） 【期間】 平成31年3月15日～3月28日 ・地域支え合い活動推進モデル地区社協指定事業（再掲） 【指定】 ・新月地区社会福祉協議会 ・松岩地区社会福祉協議会 ・生活支援コーディネーター養成研修 気仙沼市会場 5日間開催（気仙沼市より延287人受講） ・随時、地域で開催の交流会等への参加と情報収集、各種打合せ参加 ・生活支援体制整備事業は、本会が推進してきた小地域福祉活動の「支え合いの地域づくり」と目的が合致することから、地域福祉の推進と捉え、事業を推進しました。 【成果】 支え合い推進員が地域の中で、小地域福祉活動の意味付けや大切さを丁寧に伝え、また、社協だよりや地区住民懇談会、パネル展示等において地域活動を紹介することにより、支え合いに関する問合せや相談も増えました。 【今後の取組】 地域支え合い協力員と協働し、地域での福祉活動の情報収集や課題、社会資源の把握に努めながら、第2層協議体の在り方につ

	いても地区社協との検討を行います。 【決算】5,200,000 円
--	---

15. 団体事務

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	【概要】市民児協事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整から各地区民児協及び委員への情報提供等を行いました。 【実績】役員会 3回（4月、10月）、総会（6月） 監査会 1回（4月）、会長会議（1月、3月） 【成果】民生委員制度に関する周知について、市の協力を得ながら実施したほか、新しい制度等の情報提供等、積極的に民児協活動を支援しました。 【課題】委員主体による委員会活動の取り組みについての活性化が必要です。 【今後の取組】市民児協として、単位民児協が円滑な運営を図れるように、市担当部署等関係機関と連携を密にして取り組みます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	【概要】本吉ブロック民児協（構成：気仙沼市民児協・南三陸町民児協）の事務局として、団体会務に係る外部機関との連絡調整をしました。 【実績】なし 【成果】ブロック管内での相談支援の資質向上や諸制度理解に向けた研修機会の確保に向けて南三陸町民児協事務局と連絡調整を進めました。 【課題】南三陸町民児協事務局との日程調整が難しく、理事会等を開催することができませんでした。 【今後の取組】南三陸町民児協と連携を密にして、民生委員児童委員活動における課題を共有しながら有用な研修機会をつくります。
気仙沼市共同募金委員会	【概要】共同募金委員会事務局として、住民への募金に関する理解や募金運動に関する支援、団体会務に係る外部機関との連絡調整等を行いました。 【実績】 監査会 1回（7月） 理事会 2回（7月、3月） 評議員会 1回（3月） 配分調査委員会 1回（12月） 【成果】地区奉仕員及び自治会長を中心として、広く住民に共同募金の趣旨の理解を得て、前年度より若干増の募金協力を得ることができました。また、宮城県県共募助成事業の幅広い周知により、市内各地で助成金を活用した地域活動が展開されました。 【課題】効果的な募金運動展開を図るための十分な事務経費を確保で

	きない状況にあることから、次年度以降の事業運営に向けて引き続き宮城県共同募金会と協議が必要です。 【今後の取組】宮城県共同募金会との連携をさらに強め、市民に対して共同募金の趣旨と協力の継続や拡大を図るための広報活動の検討を進めるとともに、配分方法についても研究し、市民の善意が効果的に配分活用されるよう支援します。
気仙沼市ボランティア連絡会	【概要】市内のボランティア団体をもって組織し、各団体の育成と連携・協力を図り、ボランティア活動の推進に寄与することを目的としており、現在は、気仙沼地区と唐桑地区の計12地区ボランティアクラブから構成されています。 【実績】総会、監査会、役員会（6回開催）、他団体会議への出席、他団体活動への参加協力、研修会、新春懇話会、広報紙の発行等 【成果】情報の共有や連携を図ることにより、活動の幅が広がり活動の質の向上に繋がっています。 【課題】各地区で役員改選が多く行なわれ、ボランティア連絡会の役員も改選されました。一部役職については上手く引継ぎが行なわれていないことから、役員となる人材の育成が必要と思われます。 【今後の取組】地域のボランティア団体の円滑な連携や県内のボランティア団体との交流を図り、より充実したボランティア活動の推進に繋がるよう努めます。
気仙沼市老人クラブ連合会	【概要】老人クラブ活動の活性化を図り、市老人クラブ連合会事務局の適正な運営に努めました。 【実績】会議等（総会1回、定例理事会6回、監査会1回、専門部会7回、市高齢者事業運営委員会3回、研修会4回、関係大会5回、女性部交流会2回） 【成果】多くの研修会に参加することにより、今後の活動について検討することができました。また、女性部の活動が活発にできるように、関係機関の協力をいただき各行事を開催し、毎回多くの参加を得ることができました。健康体力づくり部は、大会に備え部員が中心になり講習会を実施した事で、行事がスムーズに実施することができました。 【課題】各地区では、会員層の高齢化に伴い、会員が減少しています。今後のクラブの在り方を見直す時期にあり、新会員の加入促進が課題です。 【今後の取組】行事への参加が多くなっていることから、内容を充実させるためにも関係機関等と連携し、円滑な運営が図られるよう支援するとともに、自主的に活動ができるように努めます。
本吉町老人クラブ連合会	【概要】関係機関と連携し、自主的運営による全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と活性化を図りました。

	【実績】会議等（総会 1 回、監査会 1 回、単位クラブ会長会議 3 回）、室内体育大会等健康づくり関係事業 3 回、芸能交歓会、リーダー移動研修、女性部交流・研修 1 回、関係大会 【成果】3 クラブの解散による構成クラブ数の減がありましたが、屋外事業が雨天中止になった以外は計画どおり事業を実施しました。単位クラブ会長会議で事業実施後の反省及び課題を出し合い、次年度に繋げるとともに、当事者意識を持ち運営に向き合えるように工夫しました。また、女性部も室内体育大会用のお手玉を製作する等、積極的な動きが出る等、今後の活躍が期待されます。 【課題】昨年度、会員層の高齢化に伴い、3 クラブが解散したことから、後継者となる若い層の会員の加入促進や役員の後継者不足が課題となっています。また、会員の高齢化や価値観の多様化により、組織運営についての検討が必要な状況にあります。 【今後の取組】単位クラブ会長会議等にて、クラブや事業の在り方、リーダーとしての役割の再確認と見直しを行いながら、事業の充実に努めていきます。
本吉地区遺族会	【概要】遺族会として友愛の精神で互いに助け合い、福祉の増進に努め、戦没者諸英霊の祭祀を厚くし、関係機関と連携強調することにより、後世にわたって平和の尊さを認識してもらえよう意識しながら事業を推進しました。 【実績】会議等（総会 1 回、監査会 1 回、役員会 3 回） 気仙沼市戦没者追悼式参列 本吉地区戦没者追悼式開催 【成果】会員減少が続いていましたが、役員が中心となり減少を防ぐ呼び掛けを行ったことで、抑えることができました。 【課題】会員の高齢化と戦後の年数経過により先祖を敬う気持ちの薄れ等により、事業への参加者が年々減少傾向にあります。 【今後の取組】先祖を敬うことや平和の尊さを後世にわたって伝えていくことができるよう役員会等で検討し、組織運営を円滑に行っていきます。